

↓ ↓ 読み  
行数 仮名  
あり

## 【第4章】日本の中のいろいろなコトバ

3. 障害者とリテラシー (p.104)			
2	補聴器	ほちょうき	難聴者が聴力を補うために用いる、音声を拡大増幅する装置。
14	近眼	きんがん	遠くのもののはっきり見えない状態。近視。
16	欠如	けつじょ	必要な物事が欠けていること。
17	捉え方	とら-え-かた	主に、ものの認識の仕方、把握方法、などを意味する表現。
17	ディスプレイ		コンピューターの画面などの出力表示装置。
18	浮上	ふじょう	①表面にあらわれること。②水の中から浮かび上がること。②順位が上がること。
25	除外	じょがい	ある枠の中に入れないこと。区別して取りのぞくこと。
27	隔絶	かくぜつ	かけ離れていること。遠くへだたっていること。
27	放置	ほうち	そのままにして放っておくこと。ところかまわず置きっぱなしにしておくこと。
35	鎖国	さこく	①国が外国との交流を断絶もしくは極度に制限すること。 ②江戸幕府が封建体制強化のため、キリスト教禁止を名目に、オランダ・中国・朝鮮以外の国との貿易と日本人の海外渡航とを禁止したこと。
37	非関税障壁	ひかんぜいしょうへき	関税以外の手段により自由な貿易を妨げる障害を総称したもの。
43	非識字者	ひしきじしゃ	文字の読み書きができない人。
44	晴眼者	せいがんしゃ	視覚障害者の対義語であり、「視覚に障害のない者」を指す言葉。
54	一貫性	いっかんせい	始めから終わりまで同じ一つの方針や態度を継続すること。
55	はらむ		①その中に含み持つ。②胎内に子を宿す。妊娠する。